

## 資料10

## 10-12 名古屋市立東市民病院(主施設:名古屋市立大学病院口腔外科)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	地下鉄今池駅より徒歩15分又はバス5分(20分に1本)
厚生省の許可証表示	無(医科に準じて)
主施設の研修プログラム	医科(2年)と同じ(歯科は1年)
研修方法	4ヵ月×3、個別の指導
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	自己評価、指導医評価、各ABC評価
研修修了の認定	医科、歯科主施設、従施設指導医の全体会議にて
研修修了証の発行	主施設病院長名にて歯科のみ発行
主施設に連携する従施設数	—
従施設への派遣研修医数	2名(4ヵ月×3、各期1名)
従施設への連携	正式な組織はないが他目的の会議時に打合せを行う
運営委員会・指導医委員会	症例検討会時。歯科のみ指導者会議(週1回)
研修指導歯科医師数	主施設(6名)従施設(1名(常勤3名))
常勤衛生士数	0名(看護婦常勤2名、非常勤1名)
常勤技工士数	1名(高齢、後任は補充しない予定)
一日平均患者数	17名(障害者、有病者が主)
総研修医数	1名(各期1名)
現時点での定員	1名
最大受入可能研修医数	2名(主施設の有給者のみ受入)
奨学金支給額	—
支給日	—
支給方法	—
控室・ロッカー	1名につき1個
白衣・院内履き	支給
ユニット数	3台(うち1台はエックス線撮影用)
指導場所(研修室、会議室)	医局
教育設備、機器、備品	医局(医科研修医と同室)
その他の備品	コンピューター(単独、ネットワークとも多数)
診療時間	8:45~17:15
研修時間	8:45~17:15
週休(年休)等	2日(日)
休暇届	有給、無給を問わず必要
社会保険	主施設に由来
時間外研修の実態	ほとんど無
アルバイト(残業)の取扱	無
研修医の勤務状況の評価	出席簿と指導医の評価
担当医の指導法	見学症例と研修症例に分け行う。マンツーマン
衛生士との連携	看護婦と連携
技工士への連携	良好
インフォームドコンセント	研修医が行う(指導下にて)

## 資料10

カルテの記載	研修医が行う(指導下にて)
研修要項	主施設と同一のものを使用
研修医の記録日誌	主施設と同一のものを使用。手帳式
一日平均担当患者数	5名前後
診療内容	一般歯科、入院、有病者
診療過誤の有無・対応	無、主施設にて賠償責任保険に加入
院内研修会・講義	医科と月1回、歯科、名市大で週1回
技工研修	簡単な症例は各自で行う

### 診療所の全体評価

障害者用のみの診療室で一般歯科とはいえない

### 複合研修方式の主施設の特徴

#### 主施設と連携する従施設の特徴

公的病院のため保険診療がほとんど。病院は脳血管障害患者センターとしての役割を持っているため、歯科においても障害者、有病者が多い。

#### その他

従施設としては、モチベーション不足の研修医をも引き受けなければならず、研修意欲が削がれる。

資料10

10-13 木の実歯科(主施設:北海道医療大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	やや不便である
厚生省の許可証表示	待合室に表示
主施設の研修プログラム	北海道医療大学のプログラム
研修方法	複合研修方式
具体的目標設定	北海道医療大学のプログラムによる
評価法	北海道医療大学のプログラムによる
研修修了の認定	北海道医療大学のプログラムによる
研修修了証の発行	北海道医療大学のプログラムによる
主施設に連携する従施設数	6施設
従施設への派遣研修医数	14名
従施設への連携	あり
運営委員会・指導医委員会	北海道医療大学のプログラムによる
研修指導歯科医師数	従施設(3名)
常勤衛生士数	3名
常勤技工士数	0名外注
一日平均患者数	50名
総研修医数	2名
現時点での定員	2名
最大受入可能研修医数	2名
奨学金支給額	北海道医療大学から
支給日	月に一度
支給方法	振込み
控室・ロッカー	1名につき1個
白衣・院内履き	1名につき1個
ユニット数	5台(研修医名につき台)
指導場所(研修室、会議室)	医局
教育設備、機器、備品	コンピューター、コピー機あり
その他の備品	スライド映写機ほか
診療時間	10:00~20:00
研修時間	10:00~20:00
週休(年休)等	2日(土日)
休暇届	院長許可であり(担当指導医が許可)
社会保険	4ヵ月間社保
時間外研修の実態	18:00~20:00院内
アルバイト(残業)の取扱	18:00~20:00院内
研修医の勤務状況の評価	担当指導医が行っている
担当医の指導法	マンツーマン
衛生士との連携	あり
技工士への連携	インレー等の指示書を行う
インフォームドコンセント	子供はする

## 資料10

カルテの記載	しない
研修要項	北海道医療大学のプログラムによる
研修医の記録日誌	なし
一日平均担当患者数	5～8名
診療内容	TBI, 充填処置など
診療過誤の有無・対応	今まではなし
院内研修会・講義	月2回の勉強会
技工研修	なし

### 診療所の全体評価

あまり広くないが清潔感がある

### 複合研修方式の主施設の特徴

### 主施設と連携する従施設の特徴

主施設での研修を補完する

### その他

資料10

10-14 ファミリー歯科(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	駅より5分
厚生省の許可証表示	額入りで掲示
主施設の研修プログラム	1年。2か月×5期に分け、1、2期、3、4期に出向
研修方法	チェアサイドティーチングを主体
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	4名
従施設への連携	院外研修担当者委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)従施設(1名)
常勤衛生士数	2名
常勤技工士数	0名
一日平均患者数	150名
総研修医数	4名(1期2名)
現時点での定員	2名
最大受入可能研修医数	4名(年間)
奨学金支給額	月額4万円
支給日	31日
支給方法	現金支給
控室・ロッカー	各自に貸与
白衣・院内履き	大学貸与のものを使用、院内履きは各自準備
ユニット数	14台
指導場所(研修室、会議室)	研修室、図書室兼(7坪)
教育設備、機器、備品	プロジェクター、OHP
その他の備品	コンピューター(インターネット接続)
診療時間	9:00~20:00
研修時間	9:00~17:00
週休(年休)等	金、土曜(院長の休みの時)
休暇届	要
社会保険	なし
時間外研修の実態	個人の自由にまかせている
アルバイト(残業)の取扱	時給1,000円
研修医の勤務状況の評価	出勤簿
担当医の指導法	マンツーマン。チェアサイドティーチング主体
衛生士との連携	良好
技工士への連携	院外技工発注時
インフォームドコンセント	良好、担当医、研修医、衛生士3者で連携

## 資料10

カルテの記載	行わせている
研修要項	主施設のものを使用
研修医の記録日誌	なし
一日平均担当患者数	3名
診療内容	初診から計画立案まで担当医の指示に従い実施
診療過誤の有無・対応	なし
院内研修会・講義	特別講義
技工研修	コア、咬合床作製程度

### 診療所の全体評価

歯科医、患者間の良好な関係が構築されている

### 複合研修方式の主施設の特徴

特別養護ホームの研修あり。宿泊については不便なく快適

### 主施設と連携する従施設の特徴

セミコンパートメントでユニットごとの空気清浄機（口腔外バキューム）など健康面での配慮は良好。CO<sub>2</sub>レーザーなど先進機器あり。

### その他（補助金の使途等）

スポーツ施設あり。

ネームプレートの研修医表記の改変希望

## 資料10

## 10-15 東金デンタルクリニック(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	駅より3分、直線的でわかりやすい
厚生省の許可証表示	受付に掲示
主施設の研修プログラム	1年。2か月×5期に分け、1、2期、3、4期に出向
研修方法	チェアサイドティーチングを主体
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	2名
従施設への連携	院外研修担当者委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)従施設(2名)
常勤衛生士数	2名
常勤技工士数	0名
一日平均患者数	70~80名
総研修医数	2名(1期4名)
現時点での定員	1名
最大受入可能研修医数	8名
奨学金支給額	月額4万円
支給日	31日
支給方法	現金支給
控室・ロッカー	各自に貸与
白衣・院内履き	大学貸与のものを使用、院内履きは各自準備
ユニット数	7台
指導場所(研修室、会議室)	控室兼、会議等ファミリー歯科で行うことが多い
教育設備、機器、備品	プロジェクター
その他の備品	ファミリー歯科にあるものを使用
診療時間	9:00~20:00
研修時間	9:00~17:00
週休(年休)等	金、土曜(院長の休みの時)
休暇届	要
社会保険	なし
時間外研修の実態	個人の自由にまかせている
アルバイト(残業)の取扱	時給1,000円
研修医の勤務状況の評価	出勤簿
担当医の指導法	マンツーマン。指導医は経験豊富で優秀
衛生士との連携	良好
技工士への連携	院外技工発注時
インフォームドコンセント	良好、担当医、研修医、衛生士3者で連携

## 資料10

カルテの記載	行わせている
研修要項	主施設のものを使用
研修医の記録日誌	なし
一日平均担当患者数	2～3名
診療内容	初診から計画立案まで担当医の指示に従い実施
診療過誤の有無・対応	なし
院内研修会・講義	特別講義、ファミリー歯科にて一括
技工研修	なし

### 診療所の全体評価

歯科医、患者間の良好な関係が構築されている。

### 複合研修方式の主施設の特徴

宿泊については不便なく快適

### 主施設と連携する従施設の特徴

### その他

スポーツ施設あり。



## 資料10

## 10-16 えばた歯科(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	新宿駅西口から徒歩5分、近くて便利
厚生省の許可証表示	受付に掲示
主施設の研修プログラム	1年。2か月×5期に分け、1,2期、3,4期に出向
研修方法	指導医による直接指導
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	4名
従施設への連携	院外研修担当者委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)従施設(2名)
常勤衛生士数	4名
常勤技工士数	0名
一日平均患者数	80名
総研修医数	4名(1期2名)
現時点での定員	2名
最大受入可能研修医数	4名(年間)
奨学金支給額	月額4万円
支給日	—
支給方法	研修終了時に一括払い
控室・ロッカー	各自貸与
白衣・院内履き	各自に支給
ユニット数	9台
指導場所(研修室、会議室)	診療室、医局にて指導
教育設備、機器、備品	スライド映写機、シャーカステン、拡大模型
その他の備品	なし
診療時間	9:00～18:00
研修時間	9:00～17:00
週休(年休)等	土、日曜(2日)
休暇届	要
社会保険	なし
時間外研修の実態	なし
アルバイト(残業)の取扱	なし
研修医の勤務状況の評価	出席表
担当医の指導法	マンツーマン指導
衛生士との連携	研修医とともに介助・補助
技工士へとの連携	技巧指示書の記入
インフォームドコンセント	指導医の説明の仕方を見学させる

## 資料10

カルテの記載	なし
研修要項	主施設のものを使用
研修医の記録日誌	なし
一日平均担当患者数	20名
診療内容	インレーから合着、接着までの基礎的診療を行う
診療過誤の有無・対応	なし
院内研修会・講義	月1回の院内基礎実習、レポート提出を行う
技工研修	簡単な技巧は自分で行う

### 診療所の全体評価

受付の対応もよく、患者への挨拶は丁寧、ユニット全て窓に面し、広々としている。

### 指導医からの意見

2人とも素直で礼儀正しく、まじめに研修を行っており、非常に高い評価をしている。

### 研修医からの意見

研修し易く、常勤の歯科医ともうちとけており、いろいろな診療をやらせてもらっているとのこと。特に不平不満なし

### その他

## 資料10

## 10-17 葛西南歯科(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	バス便多し,5分または徒歩15分
厚生省の許可証表示	受付に提示
主施設の研修プログラム	1年。2カ月×5期に分け、1、2期、3、4期に出向
研修方法	指導医について研修を行う
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	4名
従施設への連携	院外研修担当者委員会
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)従施設(1名)
常勤衛生士数	6名
常勤技工士数	1名
一日平均患者数	70名
総研修医数	4名(1期2名)
現時点での定員	2名
最大受入可能研修医数	4名(年間)
奨学金支給額	月額4万円
支給日	給料日
支給方法	現金支給
控室・ロッカー	1名につき1個医局にある。
白衣・院内履き	1名につき1個白衣のみ大学から支給
ユニット数	7台(研修医名につき台)
指導場所(研修室、会議室)	医局
教育設備、機器、備品	一通り揃っている。スライド
その他の備品	スライド映写機ほか
診療時間	9:00~21:00
研修時間	9:00~17:30
週休(年休)等	2日
休暇届	今まではない
社会保険	なし
時間外研修の実態	金曜日、相互実習やカルテ指導
アルバイト(残業)の取扱	認めている
研修医の勤務状況の評価	タイムカード・コンピュータ管理
担当医の指導法	マンツーマン
衛生士との連携	指導医の元で行なう
技工士への連携	指示書のみ
インフォームドコンセント	重視している

## 資料10

カルテの記載	指導医が書くが、カルテ練習あり
研修要項	ファイルあり
研修医の記録日誌	なし
一日平均担当患者数	2-3名
診療内容	根治・P抜歯・冠除去など
診療過誤の有無・対応	今まではない
院内研修会・講義	相互実習など
技工研修	なし

### 診療所の全体評価

明るく、雰囲気がいい

### 複合研修方式の主施設の特徴

### 主施設と連携する従施設の特徴

### その他

## 資料10

## 10-18 上野松坂屋歯科(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	地下鉄広小路駅徒歩1分
厚生省の許可証表示	受付に掲示
主施設の研修プログラム	1年。2カ月×5期に分け、1、2期、3、4期に出向
研修方法	チェアサイドティーチングを主体
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	4名
従施設への連携	院外研修担当者委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)従施設(2名)
常勤衛生士数	7名
常勤技工士数	0名
一日平均患者数	50-60名
総研修医数	2名(1期1名)
現時点での定員	1名
最大受入可能研修医数	4名
奨学金支給額	月額4万円
支給日	給料日
支給方法	現金支給
控室・ロッカー	1名につき1個医局にある
白衣・院内履き	なし。白衣のみ大学から支給
ユニット数	7台(研修医名につき台)
指導場所(研修室、会議室)	医局
教育設備、機器、備品	なし
その他の備品	スライド映写機ほか
診療時間	10:00~19:30
研修時間	10:00~18:00
週休(年休)等	2日
休暇届	今まではない
社会保険	なし
時間外研修の実態	なし
アルバイト(残業)の取扱	認めている
研修医の勤務状況の評価	良好
担当医の指導法	マンツーマン
衛生士との連携	良好
技工士への連携	なし
インフォームドコンセント	重視している

## 資料10

カルテの記載	指導医が書く
研修要項	ファイルあり
研修医の記録日誌	なし
一日平均担当患者数	2-3名
診療内容	根治・CR充填など
診療過誤の有無・対応	今まではない
院内研修会・講義	なし
技工研修	なし

### 診療所の全体評価

便利だが、古くて狭い。

### 複合研修方式の主施設の特徴

### 主施設と連携する従施設の特徴

### その他

## 資料10

## 10-19 橋口歯科(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	駅から徒歩5分
厚生省の許可証表示	受付に表示してある
主施設の研修プログラム	1年。2カ月×5期に分け、1、2期、3、4期に出向
研修方法	チェアサイドティーチングを主体
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	4名
従施設への連携	院外研修担当者委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)、従施設(1名)
常勤衛生士数	12名
常勤技工士数	0名
一日平均患者数	160名
総研修医数	4名(1期2名)
現時点での定員	2名
最大受入可能研修医数	4名
奨学金支給額	—
支給日	月末
支給方法	現金支給
控室・ロッカー	医局に整備されている
白衣・院内履き	大学支給の白衣と個人の院内履きを使用
ユニット数	15台
指導場所(研修室、会議室)	研修室で指導、会議を行う
教育設備、機器、備品	薄板、ビデオ・プロジェクター
その他の備品	特になし
診療時間	10:00~21:00
研修時間	9:00~18:00
週休(年休)等	2日(木日)
休暇届	あり(届出により許可した欠勤あり)
社会保険	—
時間外研修の実態	なし、必要に応じて研修あり
アルバイト(残業)の取扱	なし
研修医の勤務状況の評価	指導医が行う
担当医の指導法	カリキュラムに従い、担当医が指示、指導
衛生士との連携	担当医が衛生士と研修医に指示し、連携して診療
技工士への連携	技工士がいないため指示書の記載を指示
インフォームドコンセント	担当医が1日の行程をミーティングで指示

## 資料10

カルテの記載	担当医が記載し、研修医が確認
研修要項	特になし
研修医の記録日誌	カリキュラムに従い、担当医が評価して記載
一日平均担当患者数	10名
診療内容	診療計画立案からアフターケアまで経験する
診療過誤の有無・対応	なし
院内研修会・講義	1か月に1度の院内研修
技工研修	なし

### 診療所の全体評価

清潔で使いやすい配置と患者に親切的な診療室である。

### 複合研修方式の主施設の特徴

日本歯科大学の歯科医師臨床研修プログラムに基づいて研修を行っている。

### 複合研修方式の従施設の特徴

### 指導医からの意見

意欲は十分であるが、まだまだ技術は未熟、但し行動は積極的、さらなる知識が必要

### 研修医からの意見

基礎的な知識が役立つ臨床が行え、積極的に質問できるので勉強になる

### その他



## 資料10

## 10-20 きめた歯科(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	駅から徒歩1分
厚生省の許可証表示	受付に掲示
主施設の研修プログラム	1年。2カ月×5期に分け、1、2期、3、4期に出向
研修方法	チェアサイドティーチングを主体
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	2名
従施設への連携	院外研修担当者委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)、従施設(11)
常勤衛生士数	4名
常勤技工士数	1名
一日平均患者数	270名
総研修医数	2名(1期1名)
現時点での定員	1名
最大受入可能研修医数	4名
奨学金支給額	—
支給日	27日
支給方法	現金支給
控室・ロッカー	別室に確保、整備不十分
白衣・院内履き	白衣・院内履きを医院で支給
ユニット数	8台
指導場所(研修室、会議室)	コンパートメント内で指導
教育設備、機器、備品	スライド機器のみ
その他の備品	特になし
診療時間	9:00~17:00
研修時間	9:00~17:00
週休(年休)等	2日(土日)
休暇届	なし(休暇は必要に応じて許可)
社会保険	—
時間外研修の実態	特になし
アルバイト(残業)の取扱	特になし
研修医の勤務状況の評価	指導医が行う
担当医の指導法	マンツーマンで指導、理解度にあわせて臨床実地
衛生士との連携	指導医が指示、臨床実地
技工士への連携	特になし
インフォームドコンセント	診療室全員で確認、指示している

## 資料10

カルテの記載	担当医が記入、研修医はタッチせず
研修要項	特になし
研修医の記録日誌	特になし
一日平均担当患者数	20名
診療内容	初診時の診査・治療計画
診療過誤の有無・対応	現在までなし
院内研修会・講義	勤務時間外、自由参加で定期的に行われる
技工研修	技工研修なし

### 診療所の全体評価

診療中心の臨床研修である。

### 複合研修方式の主施設の特徴

日本歯科大学の歯科医師臨床研修プログラムに基づいて研修を行っている。

### 主施設と連携する従施設の特徴

臨床研修での基本的問題に対して臨床を実際に教育しており、研修医が臨床研修に積極的に取り組んでいる。

### 指導医からの意見

積極的に研修に取り組み、臨床実技は向上している。

### 研修医からの意見

優しく、基本的な問題・臨床を実際に教育してくれるので、研修は効果的である。

### その他

なし

## 資料10

## 10-21 名古屋市立城北病院(主施設:愛知学院大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	地下鉄黒川駅よりバス10分+徒歩6分
厚生省の許可証表示	歯科外来に掲示
主施設の研修プログラム	4ヵ月×3期に分け2、3期に従施設に出向
研修方法	愛院大にて口外を選択した研修医のみ。医科とは別
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	自己評価、指導医評価
研修修了の認定	主施設、従施設指導医の全体会議にて
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	—
従施設への派遣研修医数	2名(4ヵ月×3、各期1名)
従施設への連携	報告会など
運営委員会・指導医委員会	指導者会議(年3~4回)
研修指導歯科医師数	主施設(名)従施設(1名)
常勤衛生士数	0名(非常勤1名、常勤看護婦1名、非常勤1名)
常勤技工士数	0名(2ヵ所に外注)
一日平均患者数	20名(入院4名、紹介患者が36~7%)
総研修医数	46名
現時点での定員	2名
最大受入可能研修医数	1名(名古屋市の財源による)
奨学金支給額	月額給与16.2万円(愛院大にて無給でも従施設出向。研修医は名古屋市より給与が支給される)
支給日	—
支給方法	振込
控室・ロッカー	1名につき1個
白衣・院内履き	支給
ユニット数	4台
指導場所(研修室、会議室)	診療室内のカウンセリング室を使用
教育設備、機器、備品	医局
その他の備品	コンピューター(単独、ネットワークとも多数)
診療時間	8:45~17:15
研修時間	8:45~17:15
週休(年休)等	2日(日)
休暇届	必要
社会保険	従施設での研修中は有
時間外研修の実態	17:15~18:30
アルバイト(残業)の取扱	無
研修医の勤務状況の評価	出席簿
担当医の指導法	マンツーマン。見学症例と研修症例に分け行う
衛生士との連携	少ない。看護婦と連携
技工士への連携	無
インフォームドコンセント	研修医が行う(指導下にて)

## 資料10

カルテの記載	研修医が行う(指導下にて)
研修要項	主施設と同一のものを使用
研修医の記録日誌	主施設と同一のものを使用
一日平均担当患者数	2～3名(見学研修は6～7名)
診療内容	一般歯科、入院、有病者
診療過誤の有無・対応	無
院内研修会・講義	院内合同勉強会月1回、医局会週1回
技工研修	通常外注、シーネ作製などは各自で行う

### 診療所の全体評価

診療室は非常に狭い。ごく一般的な口腔外科診療室

### 複合研修方式の主施設の特徴

#### 主施設と連携する従施設の特徴

病院は唇顎口蓋裂治療の拠点病院としての役割を持っているため、歯科においてもこのような患者が多い。

### その他

4ヵ月という期間は短すぎる(8ヵ月、将来的には1年間が必要)